

小矢部市役所でも2月22日から3月11日まで展示される。

高岡市木舟町の土蔵造りの建築や南砺市平地域の世界遺産・相倉合掌造り集落などを題材にした作品も展示されている。

高岡市木舟町の土蔵造りの建築や南砺市平地域の世界遺産・相倉合掌造り集落などを題材にした作品も展示されている。



展示は県古民家再生協会が主催した。高岡高校2年の室谷清乃さんが「びよん吉」の名前で応募し、銅賞を受賞した「覗くが並ぶ。作品は看板に空いた穴から岐阜県飛騨市古川町の町並みを捉えている。

「覗くが並ぶ。作品は看板に空いた穴から岐阜県飛騨市古川町の町並みを捉えている。

古民家テーマに フォト甲子園展

散居村ミュージアム

【砺波】

伝統的建築や町並みをテーマにした中高生の写真コンテスト「第4回古民家フォト甲子園」のパネル展が29日、砺波市太郎丸のとなみ散居村ミュージアムで始まり、県内からの応募作20点を含む45点を紹介している。写真。2月19日まで。

コンテストは住まい教育推進協会が開き、全国から138点の応募があった。今回の

古民家や街並み撮影 フォト甲子園 砺波でパネル展

フォト甲子園 砺波でパネル展

県古民家再生協会の「第4回古民家フォト甲子園パネル展」は29日、砺波市のとなみ散居村ミュージアムで始まり、県内の中高生が撮影した古民家や街並みの写真が並んだ。

全国138点の応募から銅賞に選ばれ、県内唯一の入賞となった室谷清乃さん(高岡高2年)の飛騨古川

の景観を収めた作品をはじめ、合掌造り集落やアズマダチ民家での生活風景をとらえた富山らしい写真が注目を集めた。

県外の生徒による入賞作や、過去大会の出品作も展示された。2月19日まで。22日からは小矢部市役所でも展示される。



古民家や街並みの写真が並ぶ散居村ミュージアム
—砺波市のとなみ散居村ミュージアム

古民家写真 生徒作品並ぶ

砺波でパネル展

県内の中高生が撮影した古民家の写真を集めた「古民家フォト甲子園パネル展」が29日から、砺波市太郎丸の「となみ散居村ミュージアム」で始まり、見学者たちでにぎわっている。

2月19日まで。

「古民家フォト甲子園」は、若者たちに伝統的な住文化への関心を高めてもらおうと、「住まい教育推進協会」(東京)が毎年、全国の中高生から写真を公募

生徒たちが撮影した作品が並ぶ会場(29日、砺波市太郎丸の「となみ散居村ミュージアム」で)

